

第Ⅻ期 事業報告書

2021年6月1日～2022年5月31日

当法人の活動目的は、人と動物が良きパートナーとして、共に幸せに暮らせる社会を作っていくことである。そのために、以下3つの活動を行い、また当法人の組織基盤の強化も図りながら、日本の動物福祉を世界トップレベルまで引き上げていくことを目指す。

- ① 動物福祉活動に従事する非営利法人に対して寄付支援を中心とする活動支援
- ② 動物福祉に対する考え方や情報を社会に発信していくセミナー等の企画運営
- ③ セミナー、WEB掲載等に活用するための情報リサーチ

1. 寄付支援事業

【目的と意義】

2011年9月にカットオーバーされた「アニマル・ドネーション」を通じて、支援先団体と寄付者を結び付ける事業である。支援先団体としては、遺棄動物の保護団体、伴侶団体や動物愛護の精神を啓発する団体、人の療育や教育に成果が生じる動物介在活動をする団体等を対象としている。これらの対象法人の活動資金源の過半は「寄付」である。寄付による支援活動を活発化させることにより、動物福祉の底上げを図ることを目的としている。また、誰しもが気軽に寄付による支援が行えるオンラインでの寄付システムの提供や、企業等と協力した寄付の仕組みを提供することで、日本に寄付文化が定着していくことに貢献することも目的としている。12期終了後の寄付の総額は、約3億円となりサイトへの信頼性は増した。

1) 個人からの寄付支援事業

クレジットカードによるオンライン寄付システムを提供し、個人からの寄付を集め、支援先団体へ届ける事業。また、寄付金を募りやすい環境を作るために、支援先団体向けの活動支援や情報共有、勉強会運営、印刷物発行などを行う。寄付者に対しては、支援先団体の活動状況や、寄付金の使途、課題に対する情報などを、オンラインサイト内の記事やSNSなどを利用して提供する。

個人からの今期の寄付金額は3,380万円、累計では1億458万円となり、支援先団体数は2022年5月時点で24団体（通算28団体）となっている。

今期の個人寄付は、前期よりも約78万円増加した。

認定団体の公募に向け、SNSで告知や動画を用いた案内を拡散する等、全国の公募対象団体への周知を試みた結果、例年以上に多くの応募に繋がった。全団体のオンライン面談を実施後の現地調査は、依然コロナ禍ではあったが、事前に抗体検査を必須とし2名体制で訪問。より詳細で正確な観点を元に審議に至ることが出来た。

前期にリニューアルした遺贈サイト（アニドネレガシーサイト）により、専門家や金融機関からの問い合わせが増加。金融機関2社と正式な提携を実現することでスキームが構築でき、より具体的な提案が可能となり案件も増えてきている。今後の動物への遺贈寄付の普及を目指す。

内閣府より「紺綬褒章認定法人」に認定を受けてから、第一号となる寄付者を申請。授与が決定した。

2) 企業団体からの寄付支援事業

企業の社会貢献として当法人と協働した寄付企画を立案し実行する事業。企業の扱う商品の一部が寄付となる商品開発や、企業と協働した寄付キャンペーンの企画立案を行う。日本においても、SDGsを意識した社会貢献を模索する企業が増えてきている。その際に、企業が寄付活動に取り組みやすい環境を作るために、企画立案やコンサルティングを行う。

企業団体からの今期の寄付金額は、5,371万円、累計では、1億9,367万円となった。

今期の企業寄付は、前期よりも約2,488万円増加した。

2. セミナー等の企画運営事業

【目的と意義】

犬や猫の動物飼養に対する正しい認知・知識を社会全体で持つことが、人も動物も暮らしやすい社会づくり、動物福祉の向上にとって重要である。「動物福祉」という言葉自体に市民権が得られていない現状において、問題点・課題点をまずは認知することが動物福祉向上への道筋となる。対象は学生、企業、クラブアニドネ等、対象によって講義内容を変え、オンラインにて実施。動物飼養や動物福祉に関する歴史や正しい知識を学び、自身がどう行動すべきか、を考えられるセミナーとなっている。

◆日時：2021年6月20日 10:00-11:30

場所：オンライン zoom

対象者：クラブアニドネ

人数：8名

テーマ「日本の動物福祉の問題と解決法について」

講師：西平衣里

◆日時:2021年7月1日 9:20-10:50

場所:オンライン zoom とリアル併用

対象者：日本福祉大学 学生対象

人数：182名

テーマ『動物の福祉について～知ることから始めよう～』

講師：糸ひとみ

◆日時：2021年9月3日 12:00-13:00

場所：オンライン zoom

対象者：アンファー株式会社 社員対象

人数：12名

テーマ「日本の動物福祉の課題と未来」

講師：西平衣里

◆日時：2021年9月11日 12:00-13:00

場所：オンライン zoom

対象者：日本ドッグトレーナー協会（JDTA）社員対象

人数：約20名

テーマ「みんなで考えたい動物のこと AWGs とは？」

講師：望月舞

◆日時：2021年10月23日 10:00-11:30

場所：オンライン zoom

対象者：クラブアニドネ

人数：6名

テーマ「日本の動物福祉の問題と解決法について」

講師：西平衣里

◆日時：2021年12月10日 16:00-17:00

場所：オンライン zoom

対象者：横田高校 動物業界を目指す4名対象

人数：4名

テーマ「動物問題のコト、知ってください」

講師：西平衣里

◆日時：2021年12月12日 10:30-12:00

場所：オンライン zoom

対象者：一般の方対象

人数：約50名

テーマ「里親になるために必要なこと」

講師：糸ひとみ

◆日時：2022年1月21日 13:35-14:25

場所：オンライン zoom

対象者：上尾市立東中学校

人数：4名

テーマ「人が動物を虐待しない社会を作るには」

講師：西平衣里

◆日時：2022年2月2日 11:00-12:00

場所：新大久保駅 フードホール「Kimchi, Durian, Cardamom,, (キムチ、ドリアン、カルダモン、、、)

対象者：メディア向け

人数：約30名

テーマ「保護猫活動の実態や課題など」

登壇：ダレノカレ明美さんとアニドネ亀井雪代の対談形式

◆日時：2022年3月5日 10:00-11:30

場所：オンライン zoom

対象者：クラブアニドネ

人数：5名

テーマ「日本の動物福祉の問題と解決法について」

講師：西平衣里

◆日時：2022年4月27日 19:00-20:00

場所：オンライン zoom

対象者：HAPP 会員向け

人数：約70名

テーマ「動物たちのために頑張る団体・組織を寄付で支援するアニマル・ドネーションの活動と取組み」

講師：西平衣里

3. リサーチ事業

【目的と意義】

動物福祉に関する多様な考え方や情報を共有していくことが、社会全体の関心を高め、業界全体がボトムアップしていくために重要である。そこで、国内・海外の事例のリサーチ、専門家インタビュー等を通じて、動物福祉に関するナレッジを蓄積し、情報開示を行っている。業界が抱えている課題やベストプラクティスを学び合っていく。

2021年8月にSDGsを動物福祉に照らしてゴールを目指すプロジェクト「AWGs」をスタート。各テーマの問題についてリサーチを重ね、広く多くへの真の動物福祉の提言を目指す。

動物愛護管理法の改正に伴う背景や実情をリサーチするために、環境省動物愛護室室長に取材を実施。また全国の愛護センター（香川県、新潟県）へも積極的に取材を敢行することで、地域ごとに抱える問題や独自の取り組み方法について情報共有を行う。

ウクライナ戦時下の動物事情についていち早くリサーチを開始し情報公開。現地の動物保護団体への支援について多くの問い合わせを受けウクライナ支援基金を設立。また、アニドネ運営費からも現地の認定2団体に支援金を送る。

4. 管理事業

【目的と意義】

当法人の目的や活動内容に理解・賛同をして、共に活動にしていだける方の拡大は、当法人の活動展開の上できわめて重要であり、活動の源となる。よって、当法人への会員になることで会費を提供いただく会員制度やボランティアという労力で活動を支える会員制度を設立し、活動規模を拡げる目的である。

1) 賛助会員制度

一口3千円からの個人賛助会員と一口3万円の法人賛助会員を設けている。入会した賛助会員に向けては、会報誌の配布を通じた活動報告、毎月のメールマガジンの配布を行い、理解と関心を深めていただく施策を実施している。

今期は、個人賛助会員17名・法人賛助会員5社を募った。

2) スタッフの拡充

有償スタッフの増員、ボランティアスタッフを拡充し、組織運営の基盤強化を進めていく。活動内容は、認定団体の伴走支援、SNSや当法人サイトを使っての情報発信、リサーチ活動、会報誌等の制作、事務局業務の強化を実施した。

今期は、ボランティアスタッフをさらに拡充し約80名体制としている。

3) 外部アドバイザーボード

法人運営の拡大や透明性を高めるために、動物学、経営学等の有識者数名を外部アドバイザーに迎えて、「審議委員会」を設けている。年1回審議会を開催して、支援先団体の選定に関する審議や、当法人の運営についてアドバイスもらった。

今期の審議会は、外部有識者4名、当法人の代表理事1名の合計5名で構成している。2021年6月に新認定4団体・既存更新4団体を認定審議。2022年3月にウクライナの動物支援団体を認定審議。

5. 税額控除に係る証明申請

寄付者の皆様から頂いた寄付が税額控除の対象となるように、税額控除に係る証明の申請を行い、平成30年5月29日から令和5年5月28日までの期間の証明書を受領し活動継続した。

以上